



高校生ふれあい懇談会 2月1日(水) 郡上北高等学校で開催

市の取組みや高校生の視点からのまちづくり等について意見、提案を伺う「高校生ふれあい懇談会」は、市内の高校2校が隔年で実施しています。今年も、郡上北高校3年生、2年生の代表10名のみなさんと日置市長、熊田教育長が懇談を行いました。地域に根ざした活動の発表をはじめ、取組みの中での課題や今後の目標について意見が交わされました。

◆食品ロス減らし隊◆

食品ロス削減に向けたカレンダーを制作して、市内中学校へ配布したり、各種イベントで啓発活動を実施してきました。SDGs達成のため、今後も地域と協力して活動を広げ、SDGsの他の目標の達成にもつながりたいです。

【市長】郡上市は、長良川源流のまちの責任として、河川・海洋を汚染しないようプラスチックごみを含む不法投棄の抑制に向けた取組みを行う「郡上市プラスチックごみゼロ宣言」を表明しています。食品ロス削減活動と併せて、ごみに関する問題にも取り組んで欲しいと思います。

◆地域ICTクラブ◆

日頃は、民間事業者さんの指導により学校では得られない技術が習得できています。現在、地域交通における移動マッチングを考えており、例えばAさんの通学の際に、通勤で同じ方向に向かうBさんの車に乗せてもらうよう、開発したアプリでマッチングを行うシステムです。しかし、コロナの影響で実証実験ができず、プロジェクトを進められない状況です。

【市長】郡上市では地域交通の確保は大きな問題であり、素晴らしい取組みだと思えます。しかし、連れ去りなどの危険性

も懸念され、安全性への配慮が重要になるので、引き続き研究してみてください。

◆郡上地域学生クラブ◆

郡上市市民協働センターとともに、Good郡上プロジェクトの運営や地域団体との交流を行っており、多くの人との関わりを持つことで、コミュニケーション能力が向上したと感じています。一方で、他校との交流拡大に向けては、部員不足に悩んでいます。

【教育長】市内の他のグループでも人手不足の話が聞かれます。例えば、年間を通じた活動ではなく、ひとつのイベントへの参加を呼び掛けるなど、参加しやすい形で募集するのも一つの方法ではないかと思えます。

◆廃校カフェプロジェクト◆

廃校活用によるカフェを考えています。高校生が活用するには多くの課題があることから、市役所や民間の人のアドバイスを得ながら、空き家活用について検討しています。これまでに空き家の見学を行い、今後はカフェの実践に向け取り組みたいと考えています。また、カフェの他にもイベント等でも活用するなど、地域とつながることができる場所にできたら良いと思えます。

【市長】空き家の利活用も大

きな課題のひとつなので、多くの制約があると思いますが、取り組みを進めて欲しいと思います。なお、八幡町市街地にある「町屋敷越前屋」は、空き家を改修した施設で、イベント等で利用できますので活用してみてください。

◆公民館応援隊◆

公民館のみなさんと共にイベントを開催しています。昨年の夏フェスタは2年ぶりの開催で、遊びに来てくれた子どもから、「楽しかった!」「また来たい!」などの声が聞けました。また、プレゼントをした福祉施設の利用者さんが喜ぶ姿を見て、自分たちも笑顔になれたので、今後も地域と触れ合っていきたいです。

【市長】公民館活動もコロナ禍において、なかなか活動ができなかったと思いますが、こうやって高校生の協力のもと活動ができたことは素晴らしいと思います。公民館活動からも郡上北高校生徒の活動を支援できるよう働きかけたいと思います。

【教育長】これからは、地域が盛り上がる公民館にしてきたいと考えており、この応援隊の活動は素晴らしいものだと思います。教育委員会としても、活動に当たり相談に乗るなど協力

したいと思えます。